

平成 31 年度（令和元年度）事業報告

総括

令和元年度の事業

新規事業計画に基づく第 2 期 3 カ年計画の 1 年目として、平成 31 年度（令和元年度）事業計画に沿って実施事業（継続事業）及びその他事業（実験動物飼育管理等事業、研究支援等事業、検査事業、講習会）を継続して行ったほか新規顧客の開拓を行った。

新規採用職員に対して基礎的教育を行った。

また人事評価制度を導入し 5 年目を迎えることから、引き続き評価基準の透明性や評価の公平性を担保しながら適正に運用されているか検討することとした。

1. 実施事業（継続事業） *公益目的支出計画に基づく事業
2. その他事業
3. 新規顧客（受託事業）開拓

民間企業の実験動物研究支援業務

国立研究機関の実験動物飼育管理及び研究支援業務

1. 実施事業（継続事業）（定款の第 4 条第 1 項第 3 号業務）

1-1 霊長類関係の研究者及び技術者を対象にした研究助成事業

予防衛生に関する研究者及び技術者の育成を目的として、国内の霊長類関係者を対象に研究助成事業を行った。今年度は研究奨励賞に 1 名、技術奨励賞に 1 名の応募があり、選考の結果 2 名が受賞した。

表1 近年の受賞者数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
研究奨励賞	なし	なし	2	1
技術奨励賞	1	なし	なし	1

1-2 技術者の育成及び知識の普及

予防衛生を中心とする公衆衛生の向上と科学技術の発展に寄与することを目的として、次の事業を行った。

- ① 予防衛生協会技術講習会の開催：霊長類関係の技術者等を対象に、モデルザル「リアル 1 号」を使用して、カニクイザルの保定方法・採血方法・経口投与方法・骨髄液採取方法等の技術講習会を以下の通り開催した。

表2 講習会日程

日 時	コース	受講者
2019 年 6 月 15 日 (土)	基礎・応用	7 名
2019 年 10 月 19 日 (土)	基礎・応用	6 名
2020 年 2 月 15 日 (土)	基礎・応用	4 名

開催場所はいずれも予防衛生協会本部（つくば市）

- ② 「第 23 回予防衛生協会セミナー」を、霊長類関係の飼育管理業務や各種研究に従事する技術者及び研究者等を対象に開催した。

ア) 日 時 令和元年 11 月 30 日 (土)

イ) 場 所 つくばイノベーションプラザ (つくば市)

ウ) テーマ 実験用霊長類・現場から発信 ー疾患モデルと管理の課題ー

エ) 参加者 23 名

2. その他事業（定款の第4条第1項第1, 2, 4号業務）

2-1 国立研究機関及び民間企業の実験動物飼育管理業務

2-2 国立研究機関及び民間企業の研究支援業務

2-3 労働者派遣事業（動物飼育管理、研究支援、研究補助）

2-4 検査事業

医科学研究等に使用するサル及びヒトの安全を確保のため、前年度から継続して以下の事業を実施した。

- ① 国内外のサル飼育施設から依頼を受けたサル等由来材料についてウイルス抗体検査や細菌検査等を実施した。平成31年度は、前年度より4,171件減少した。

表3

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
検査受託件数	16,030	21,195	17,024
(対前年度増減数)	(52)	(5,165)	(-4,171)

2-5 技術者の育成及び知識の普及

大学・研究機関・関連団体等に技術者を派遣し研修の実施や飼育技術者認定試験等への協力を通して知識の普及を行った。また、平成29年度より開始した予防衛生協会講習会を引き続き開催した。

① 公益社団法人日本実験動物協会への協力

- (1) 実験動物1級・2級技術者試験試験官
- (2) 白川研修会
- (3) サル類実技研修会

- (4) 実験動物技術者試験受験資格特例認定校実技講習会
- (5) モニタリング技術委員会
- ② 特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会への協力
 - (1) バイオセーフティ技術講習会（病原体等安全管理技術者養成講座）
- ③ 大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所への協力
 - (1) 「ニホンザル」バイオリソース母群検討委員会
- ④ 国立研究開発法人産業技術総合研究所への協力
 - (1) 生物学的安全キャビネットに関する講習会
- ⑤ 予防衛生協会講習会
 - 第7回講習会
 - ア) 日 時 令和元年8月9日（金）13:00～17:00
 - イ) 場 所 つくばイノベーションプラザ（つくば市）
 - ウ) テーマ BSL2・BSL3 実験施設（スイート実験室・施設の紹介）
 - エ) 参加者 30名
 - 第8回講習会
 - ア) 日 時 令和2年2月7日（金）13:00～17:00
 - イ) 場 所 つくばイノベーションプラザ（つくば市）
 - ウ) テーマ 実験動物を取り巻く環境・パート1
 - エ) 参加者 34名
- ⑥ 霊長類関係の研究者や繁殖育成等業務に携わる技術者からの技術的事項に関するメール等の問い合わせに対し回答した。

2-6 ホームページの運営

- ① 当協会の組織及び業務を紹介した。
- ② 当協会の山内一也会員が解説する生命科学の雑記帳を公開し霊長類の研究者及び繁殖育成等に携わる技術者向けに情報を提供したほか、医学系大学向け教育教材として広く活用された。

2-7 研究成果の発表

医科学研究用霊長類に係る研究を積極的に進め、その成果を学術誌や各種学会大会等において発表した。

【誌面】

Long-Term Outcome and Rejection After Allogeneic Uterus Transplantation in Cynomolgus Macaques.

Kisu I, Ishigaki H, Emoto K, Kato Y, Yamada Y, Matsubara K, Obara H, Masugi Y, Matoba Y, Adachi M, Banno K, Saiki Y, Itagaki I, Kawamoto I, Iwatani C, Nakagawa T, Tsuchiya H, Sasamura S, Urano H, Ema M, Ogasawara K, Aoki D, Nakagawa K and Shiina T
J. Clin. Med. 2019, 8(10), 1572; <https://doi.org/10.3390/jcm8101572>

A nonhuman primate model of liver fibrosis towards cell therapy for liver cirrhosis.

Yasuda K, Kotaka M, Toyohara T, Sueta SI, Katakai Y, Ageyama N, Uemoto S, Osafune K.
Biochem Biophys Res Commun. 2020 Apr 2. pii: S0006-291X (20)30643-4. doi:
10.1016/j.bbrc.2020.03.148.

Decoding of muscle activity from the sensorimotor cortex in freely behaving monkeys.

Umeda T, Koizumi M, Katakai Y, Saito R, Seki K.
Neuroimage. 2019 Aug 15;197:512-526. doi: 10.1016/j.neuroimage.2019.04.045. Epub 2019 Apr 20.

石井 一 他

コモンマーモセットにおける持続皮下輸液方法の技術検討
実験動物技術 2020. 第55巻1号 2019. December Accepted, on printing

濱野正敬 他

医学研究用サル類の健康管理と検査環境整備
実験動物と環境 2019. 27(1), 65-68

濱野正敬

医科学研究用サル類の検査とバイオリスクマネジメント
実験動物ニュース 2020. Vol.69, No2. 2020. March Accepted, on printing

【学会、講演】

石井 勇輝 他

Development of Experimental Autoimmune Myocarditis (EAM) Model in Non-human Primates.
The 2nd Joint Meeting of Veterinary Science in East Asia.

(2019年4月) 韓国

石井 勇輝 他

カニクイザルにおける糖尿病性心筋症の病態解析

第66回 日本実験動物学会総会

(2019年5月) 福岡

片貝 祐子 他

コモンマーモセット三仔哺育の試み

第28回 サル疾病ワークショップ

(2019年7月) 茨城

棟居 佳子 他

神経セロイドリポフスチノーシスと診断されたカニクイザルにおける原因遺伝子同定とコロニー内の保因状況

第28回 サル疾病ワークショップ

(2019年7月) 茨城

片貝 祐子

NC3Rs ガイドライン “非ヒト霊長類の住居、ケア及び利用” から見たサルの取り扱いについて

第32回 医薬品研究におけるサル類研究会

(2019年9月) 茨城

棟居 佳子 他

神経セロイドリポフスチノーシスと診断されたカニクイザルにおける原因遺伝子同定とコロニー内の保因状況

第162回 日本獣医学会学会学術集会

(2019年9月) 茨城

板垣 伊織 他

Perinatal Characteristics of Long-tailed Macaques for Medical Science Research Use.

12th International Conference of Asian Society of Conservation Medicine. (2019年10月)

カンボジア

片貝 祐子 他

Supplemental rearing in common marmosets

The 12th meeting of Asian Society of Conservation Medicine

(2019年10月) カンボジア

石井 一 他

麻酔時呼吸モニターはコモンマーモセットでも有用か？

第47回 静岡実験動物研究発表会

(2019年10月) 静岡

石井 一 他
実験用サル類の品質維持のための感染制御の重要性
第 53 回 日本実験動物技術者協会総会
(2019 年 10 月) 愛媛

濱野 正敬 他
実験用サル類の検査材料を取り扱う上でのバイオリスクマネジメントと検査の実際
第 19 回 日本バイオセーフティ学会総会・学術集会
(2019 年 11 月) 東京